



平成 14 年 6 月 25 日

各 位

会 社 名 株式会社デジタルガレージ
代 表 者 名 代表取締役 CEO 林 郁
(登 録 銘 柄 ・ コ ー ド 4 8 1 9)
(URL <http://www.garage.co.jp/>)
問 い 合 せ 先 取締役 CFO 経営管理本部長
徳 山 涼 平
T E L 0 3 - 5 4 6 5 - 7 7 4 7

平成 14 年 6 月期 通期連結業績予想および通期個別業績予想の修正について

平成 13 年 8 月 28 日付の決算短信発表時に公表いたしました平成 14 年 6 月期（平成 13 年 7 月 1 日～平成 14 年 6 月 30 日）通期の連結業績予想ならびに個別業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 14 年 6 月期 通期連結業績予想の修正

(1) 当期（平成 13 年 7 月 1 日～平成 14 年 6 月 30 日）の連結業績予想数値の修正

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	4,194	315	143
今 回 修 正 予 想 (B)	2,800	390	115
増 減 額 (B - A)	1,394	75	28
増 減 率 (%)	33.2%	23.8%	19.5%

(2) 修正の理由

当期の連結業績予想修正は、後記いたしております当社単独決算の予想修正に伴うものが主な要因であります。また、当社グループとして大型案件に集中したため、子会社のグループ内売上比率が増加し、連結売上高の減少に影響しております。なお、連結子会社である㈱ディーエス・インタラクティブおよび㈱イーコマース総合研究所の両社の売上高合計で 148 百万円、経常利益は合計で 13 百万円、当期純利益は合計で 10 百万円が、それぞれ減少する見込みです。また、持分法適用関連会社である㈱イーコンテキストおよび㈱ギフトポートの持分法による投資損失は、当初計画と比較し 39 百万円増加し、経常利益および当期純利益へ影響いたしております。

(3) ご参考 前期の実績 (平成12年7月1日～平成13年6月30日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
通期 (7/1～6/30)	2,669	160	47

2. 平成14年6月期 通期個別業績予想の修正

(1) 当期 (平成13年7月1日～平成14年6月30日) の業績予想数値の修正

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	3,673	330	184
今回修正予想 (B)	2,600	500	220
増減額 (B - A)	1,073	170	36
増減率 (%)	29.2%	51.5%	19.5%

(2) 修正の理由

売上高の修正については以下の要因によるものであります。長引く IT 不況の影響により、企業等の設備投資の決定が慎重になり、法人向けネットワークシステムの販売 (約4.5億円) およびブロードバンドの教育関連システム構築の受託案件等2件 (約4.5億円) が今期見込めなくなりました。また、インターネット広告市場の停滞や、動画広告の評価判断や著作権ルールの遅れなどから、広告関連が予定より約1億円減少する見込みです。結果として、売上高は当初計画と比較し1,073百万円の減少となる見込みです。

一方、当社ビジネスの機軸であるネットビジネスの孵化 (インキュベーション) においては、有価証券売却益約4.4億円を計上致しました。ブロードバンド業務への戦略的な取り組みのための追加的な費用の発生もありましたが、経常利益は170百万円、同じく当期純利益につきましては36百万円が当初計画より増額となる見込みです。

(3) ご参考 前期の実績 (平成12年7月1日～平成13年6月30日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
通期 (7/1～6/30)	2,362	247	136

以上